



## 『環境技術実証事業』に関するフォローアップ調査

### (実証機関・実証運営機関向け調査)

環境省では、先進的環境技術の普及を進めるため、先進的環境技術の環境保全効果等を第三者が客観的に実証する事業を平成 20 年度から「環境技術実証事業」として本格実施しております（平成 15 年度より 5 カ年間、試行的に行う「環境技術実証モデル事業」を実施。）。

本調査は、平成 19 年度以降に「環境技術実証モデル事業」または「環境技術実証事業」に実証機関または実証運営機関としてご参加いただいた団体を対象に、実施するものです。

本調査は、これまでの事業の実施状況・成果を評価し、環境技術実証の実施手法及び体制を改善することを目的として実施いたします。調査結果を分析し、今後の事業実施へ反映いたします。環境技術実証事業の改善のため、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 実施方法

- 回答期限：平成 23 年 9 月 9 日（金）
- 実施主体：環境省 総合環境政策局 総務課 環境研究技術室（担当：武部、金子）  
TEL：03-3581-3351（内線：6244）  
E-mail：etv@env.go.jp
- 回答上の注意：
  - ①上記回答期限までに、メールにて [etv-survey@mri.co.jp](mailto:etv-survey@mri.co.jp) 宛てにご回答下さい。郵送や FAX にてご回答をご希望される場合は事前にご一報ください。
  - ②このアンケートは、貴団体の考えをおたずねするものです。考えを集約しきれない場合は、回答者（貴社の担当者として）の考えでお答えいただいても構いません。
  - ③調査の結果は、個別の回答者が分からないように集計・とりまとめを行った上で、環境省の関連検討委員会等の資料として使用されます（一部公開資料となります）ので、ご了承ください。
  - ④各質問の指示に従って、あてはまる番号を記入してください。自由回答欄については、できるだけ具体的に記入ください。

#### 【本調査の回答送付先・調査内容に関するお問い合わせ先】

（株）三菱総合研究所 環境・エネルギー研究本部（担当：水上、長谷川）

〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

TEL：03-6705-5713、FAX：03-5157-2146 E-mail：etv-survey@mri.co.jp

- ご回答内容に関し、お問い合わせする場合がございますので、ご了承ください。
- 本調査票は、環境技術実証モデル事業及び環境技術実証事業に申請いただいた団体に、お送りしています。

## 1 基本情報

貴団体の基本情報を記入して下さい

|                  |                                                   |                                                                                                                              |  |  |  |  |
|------------------|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|
| 団体名              |                                                   |                                                                                                                              |  |  |  |  |
| 参加区分*<br>(複数選択可) | 番号                                                | 1. 実証機関                  2. 実証運営機関                                                                                           |  |  |  |  |
| 法人の種類**          | 番号                                                | 1. 地方公共団体    2. 一般社団法人    3. 公益社団法人<br>4. 一般財団法人    5. 公益財団法人    6. NPO 法人<br>7. 民間企業         8. その他（                      ） |  |  |  |  |
| 所在地              |                                                   |                                                                                                                              |  |  |  |  |
| 実証技術分野           | ※複数の技術分野において、ご参加いただいている場合は、調査票を複数用意し、分野別にご回答ください。 |                                                                                                                              |  |  |  |  |

\* 本事業にどのような立場でご参加されたかについて、番号をご記入ください（複数選択可）。

※ご回答いただく方の所属される団体の情報について、番号をご記入ください。

ご回答者の基本情報を記入して下さい

|          |  |
|----------|--|
| 担当者名     |  |
| 担当部署・役職名 |  |
| 電話番号     |  |
| FAX 番号   |  |
| メールアドレス  |  |

**2 環境技術実証事業（H19 年度以前の環境技術実証モデル事業を含む、以下 ETV）  
で得られた成果について、お伺いします。**

**問1 貴団体では、ETV の実証機関または実証運営機関となることで、期待通りの成果が得られましたか。（○印は1つだけ）**

| 記入欄 | 項目                           |
|-----|------------------------------|
|     | 1. 期待以上の成果を得ることができた          |
|     | 2. 期待通りに、十分な成果を得ることができた      |
|     | 3. 期待通りではないが、ほぼ成果を得ることができた   |
|     | 4. 期待通りではなく、十分な成果が得られたとはいえない |
|     | 5. 成果があったとも無かったともいえない・わからない  |

※上のように回答された理由について、できるだけ具体的にお答えください。

**問2 貴団体では、ETV に参加することで（ETV を実施することで）、具体的にどのような成果がありましたか（○印はいくつでも可）。**

| 記入欄 | 項目                                                              |
|-----|-----------------------------------------------------------------|
|     | 1. ETV で実証したことにより、実証技術の普及・購入が進んだ                                |
|     | 2. ETV で実証したことにより、開発者等が技術の特徴や改善点を知ることができ、技術の改善が促された             |
|     | 3. 環境技術の開発者に対して、環境技術の適正な開発や販売促進等に関する支援施策を進める上での知見やノウハウを得ることができた |
|     | 4. 環境技術のユーザーに対して、環境技術の調達に関する指導や情報提供等を行う上での知見やノウハウを得ることができた      |
|     | 5. 行政が自ら環境技術の調達を行う際の、技術評価の基準や方法等について、知見やノウハウを得ることができた           |
|     | 6. 実証試験に携わることで、技術に対する知見が向上した                                    |
|     | 7. 環境性能等を証明する第三者機関として社会的地位を得ることができた                             |
|     | 8. その他（ ）                                                       |

※上のように回答された理由や内容について、できるだけ具体的にお答えください。あるいは、「こうすれば参加するメリットが増す」などのご提案がありましたらお書きください。

### 3 ETV で得られた成果の情報発信等について、お伺いします。

問3 環境省では、ETVにより得られた実証試験結果を広く周知するため、①ETVのウェブサイトへの実証試験結果報告書の掲載、②実証試験結果報告書の概要を一覧的に紹介するパンフレット（通称：実証冊子）の作成、③「環境技術実証事業ロゴマーク」の交付、④環境展示会における展示・シンポジウム等の開催を行ってきました。貴団体では、これらの実証試験結果の公表方法について、どのようにお考えでしょうか。（○印は1つだけ）

| 記入欄 | 項目                              |
|-----|---------------------------------|
|     | 1. 現在の公表方法で十分である                |
|     | 2. 現在の公表方法でよいが、さらに改善や工夫が必要な点もある |
|     | 3. 現在の公表方法では不十分である              |
|     | 4. わからない                        |

※上のように回答された理由について（ウェブサイトでの掲載内容・時期／実証冊子の配布時期／ロゴマークの配布時期／展示会・シンポジウムでの広報活動について、等）、できるだけ具体的にお答え下さい。特に改善や工夫すべき点があるとお考えの場合は、その内容を具体的にご指摘ください。

問4 貴団体では、環境省の取り組み以外に、ETVにより得られた実証試験結果を普及するための、独自の情報発信等を行いましたか。（○印は1つだけ）

| 記入欄 | 項目                                    |
|-----|---------------------------------------|
|     | 1. 独自の情報発信を行った                        |
|     | 2. 独自の情報発信等を行っていないが、今後行う予定である（検討中である） |
|     | 3. 独自の情報発信等を行っていないが、今後行う予定はない         |

※1あるいは2と回答された場合、情報発信等の対象、内容、方法、あるいは情報発信によるユーザーや開発者の反応等について、できるだけ具体的にお答え下さい。

4 ETV の実施における費用負担のあり方について、お伺いします。

問5 (実証機関として参加した団体のみご回答ください) 貴団体が ETV の実証機関として実施するのに要した費用はいくらでしたか。ETV に参加した最も新しい年度の状況について、1 技術について各項目の平均の金額をお答えください。精算額として、おおよそで結構です。

| 費目                                  |                          | 費用 | うち外部委託費 |
|-------------------------------------|--------------------------|----|---------|
| 試験実費<br>(実証試験実施に要した費用)              | 分析・測定等の費用<br>(※職員人件費を除く) | 万円 | 万円      |
|                                     | 報告書作成実費<br>(※職員人件費を除く)   | 万円 | 万円      |
|                                     | 職員人件費                    | 万円 | 万円      |
|                                     | 消耗品費                     | 万円 | 万円      |
|                                     | その他雑費等                   | 万円 | 万円      |
| 事務費<br>(技術実証委員会の運営等、実証試験実施以外に要した費用) | 諸謝金                      | 万円 | 万円      |
|                                     | 旅費                       | 万円 | 万円      |
|                                     | 会議費<br>(※職員人件費を除く)       | 万円 | 万円      |
|                                     | 職員人件費                    | 万円 | 万円      |
|                                     | 印刷製本費                    | 万円 | 万円      |
|                                     | その他雑費等                   | 万円 | 万円      |

※上の回答で、見積額と精算額が異なる場合、その理由をできるだけ具体的にお答え下さい。また、説明が必要な点があれば、お書きください。

問6 （実証運営機関として参加した団体のみご回答ください） 貴団体が ETV の実証運営機関として実施するのに要した費用はいくらでしたか。ETV に参加した最も新しい年度の状況についてお答えください。精算額として、おおよそで結構です。

| 費目                                  |                    | 費用 | うち外部委託費 |
|-------------------------------------|--------------------|----|---------|
| 事務費<br>（技術実証委員会の運営等、実証試験実施以外に要した費用） | 諸謝金                | 万円 | 万円      |
|                                     | 旅費                 | 万円 | 万円      |
|                                     | 会議費<br>（※職員人件費を除く） | 万円 | 万円      |
|                                     | 職員人件費              | 万円 | 万円      |
|                                     | 印刷製本費              | 万円 | 万円      |
|                                     | その他雑費等             | 万円 | 万円      |

※上の回答で、見積額と精算額が異なる場合、その理由をできるだけ具体的にお答え下さい。また、説明が必要な点があれば、お書きください。

問7 手数料徴収を行った団体におたずねします。今回、徴収した手数料額の妥当性について、どのようにお考えですか（○印は1つだけ）。

| 記入欄 | 項目                        |
|-----|---------------------------|
|     | 1. 申請者には負担が容易あるいは妥当な額であった |
|     | 2. 申請者には負担が大きな額であった       |
|     | 3. その他（ ）                 |

※上のように回答された理由や内容について、できるだけ具体的にお答えください。

問8 手数料徴収を行っていない団体におたずねします。国負担体制において2年間事業を実施したのちは手数料徴収体制に移行することになります。今回、実施したETVでの試験に対して、手数料徴収体制における手数料として、貴団体ではどの程度の額が必要になるとお考えですか。

注）手数料徴収体制において、実証試験実施に係る実費（実証機関に発生する測定・分析等の費用、人件費、消耗品及び旅費）は手数料として申請者が負担することとなっています。

（ ）万円

※上の額の簡単な内訳をお答えください。また、要望／提案があれば、併せてお答えください。

## 5 ETV の実施方法・体制等について、お伺いします。

問9 (実証機関として参加した団体のみご回答ください) 貴団体では、実証試験の実施や実証試験結果報告書の作成等にあたり、効率性の向上や公正性・公平性の担保等のために留意したこと、工夫したことはありましたか。(○印は1つだけ)

※工夫の例としては、「閲覧者がどのような人たちがいるかを良く理解し、イメージしている。」、「写真を多用し、また掲載には適切な大きさにして閲覧者に理解し易いようにした。」、「図・グラフに色をつけ大きく掲載し、理解し易くした。」、「図やグラフの解説をきちんと解り易くつけた。」、「語句の統一を行い、似た意味で異なる用語を極力減らし、初めての人でもできるだけ読み易くした。」「引用したページ等がすぐ解るようにした。」「実証試験結果報告書の表紙に環境省のロゴマークを入れた。」等が考えられます。

| 記入欄 | 項目                  |
|-----|---------------------|
|     | 1. 留意したこと、工夫したことがある |
|     | 2. 留意したこと、工夫したことがない |
|     | 3. その他 ( )          |

※1と回答された方は、その内容についてできるだけ具体的にお答え下さい。

問10 環境省では、ETV の継続的实施について、「類似制度についても本事業と一体化し、実証要領等の統一等を図る」ことが検討課題であると考えています。(例えば、廃棄物処理や地球温暖化対策、土壌汚染対策等では、環境省により類似制度が実施されています)。この点について、貴団体のお考えに該当する番号に1つだけ○印をつけてください。

| 記入欄 | 項目                      |
|-----|-------------------------|
|     | 1. 実施要領等の統一等を是非実施すべきである |
|     | 2. 実施要領等の統一を実施すべきではない   |
|     | 3. どちらともいえない／わからない      |

※回答された理由について、特にご意見がありましたらご記入ください。



問11 （手数料徴収体制においてご参加いただいた団体のみご回答ください）環境省では、今後 ETV を効率的に運営していくために、「個別の技術分野別に選定している実証運営機関を、ETV 全体で 1 つに集約する」ことについても検討する必要があると考えています。この点について、貴団体のお考えに該当する番号に 1 つだけ○印をつけてください。

| 記入欄 | 項目                                               |
|-----|--------------------------------------------------|
|     | 1. ETV 全体で実証運営機関を 1 つに集約し、事業の全体最適化を図るべきである       |
|     | 2. 実証運営機関を全て集約する必要はないが、類似の技術分野をまとめて運営する機関があっても良い |
|     | 3. 実証運営機関は、各分野に 1 機関あるべきである                      |
|     | 4. 現時点では判断できない／わからない                             |

※回答された理由について、特にご意見がありましたらご記入ください。

問 11 その他、ETV の継続的实施に対して、ご意見、ご要望がございましたら、自由にお答え下さい。

アンケートは以上で終了です。

ご多忙の中お時間を割いていただき、また真摯なご回答にご協力いただき誠にありがとうございました。